

トピックニュース

■日向薬師宝城坊本堂の保存修理工事が本格化

平成 22 年度から、国指定重要文化財宝城坊本堂の保存修理工事が始まりました。現在、本堂の解体が進んでいます。

昨年 11 月には、茅葺屋根（かやぶきやね）を半分降ろした状態で修理現場見学会を実施しました。工事は、今年度に解体を終え、組上げの設計に入ります。完成は平成 28 年 12 月の予定です。〔担当：文化財課〕



宝城坊本堂修理現場見学会

■幼稚園などにAEDを設置

地域で安心して子育てができるように、市内の幼稚園や保育園など 24 施設にAED(自動体外式除細動器)を設置しました。

各施設で、AEDを使った救命救急講習会が開催されました。職員や保護者をはじめ、地域のみなさんが参加し、万一の場合に備えています。



〔担当：学校教育課〕



救急救命講習会

■地面の下から大発見

新東名高速道路等の建設に伴い、遺跡の発掘調査が進んでいます。

西富岡の向畑遺跡では縄文時代の人々が利用していた谷が見つかり、どんぐりなどの食料とともに赤黒の漆を塗り分けた土器が出土しました。この一連の調査は、公益財団法人かながわ考古学財団によるもので、上粕屋、石倉、子易等でも行われています。

〔担当：文化財課〕

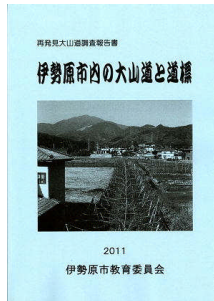


西富岡・向畑遺跡の縄文の谷

■大山道調査の報告書を刊行

平成 18 年度から実施してきた大山道（おおやまみち）の調査成果をまとめた「伊勢原市内の大山道と道標」（A4版、210ページ、230円）を刊行しました。

大山道は、江戸時代に盛んになった大山詣りにより人々が行き交った道で、その道案内を勤めた道標については、実際に 101 基の所在を確認しました。〔担当：文化財課〕



きょういく 伊勢原

目次	
1面	東日本大震災の経験を忘れない
2面	地域の皆さんの支援と協力 《社会教育・文化財》《学校教育》
3面	小中学校における取組、 平成 24 年度の新たな取組
4面	トピックニュース、 平成 24 年度の主な事業予定

発行：伊勢原市教育委員会 編集：教育総務課 TEL0463-94-4711 〒259-1188 伊勢原市田中348番地

★伊勢原市教育委員会では、教育委員会の取組を多くの皆さんに知っていただくため、情報紙「きょういく 伊勢原」を発行しています。

昨年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した津波、その後に続いた余震、それらによって引き起こされた原子力発電所の事故など、東日本大震災は私たちの記憶に新しいところです。本号では、教育委員会における同震災で発生した事態への対応と、大地震の経験を生かした学校における今後の対応方法などをお伝えします。

また、「地域の皆さんの支援と協力」をテーマに、学校教育現場や社会教育の各種場面においてご支援ご協力いただいている方々について、ほんの一部ですがご紹介したいと思います。

東日本大震災の経験を忘れない

震度 5 弱を観測した伊勢原市では、人や建物などに大きな被害はありませんでしたが、直後に発生した停電、交通機関・通信手段の混乱、その後に続いた電力不足、原子力発電所の事故に伴う放射性物質漏れなど大きな影響を受けました。市内の学校や社会教育施設などで起こったこと、行ったこと、分かったことを振り返ってみます。

●児童生徒の避難・下校方法の見直し

市内の小中学校では、大きな地震が発生した際の対応方法を決めていましたが、昨年 3 月 11 日の地震では、学校によって揺れ方や停電の発生状況などが異なり、現場の判断に違いが見られました。

こうした教訓から、今後、震度 5 弱以上の地震が発生した場合の帰宅に関する判断基準を、小学校においては「原則、保護者が引き取りに来校するまで児童を下校させない」、中学校においては「安全が確認できた後に下校させる」に見直しました。

●電力不足と節電

発電施設が被害を受け、震災後およそ 1 箇月間にわたり、計画停電が実施されました。また、夏季の電力不足が心配され、すべての教育施設で節電に取り組みました。

小中学校では大きな混乱はありませんでしたが、夜間利用も大きい公民館などの社会教育施設では、使用停止や時間制限、空調の節約など、利用者の皆さんに不便をおかけしました。

●地域で見守り

地震発生当日の下校時や、計画停電に伴い信号機が停止した際の登下校時に、地域の「見守りボランティア」、「PTAの校外委員」、「交通安全母の会」の方々が率先して横断箇所等に立って、安全確保に努めていただきました。



計画停電で信号が消えた交差点

●放射性物質漏れ対策

《放射線量測定》

原子力発電所の事故によって放射性物質が漏れ出し、特に子どもたちへの影響が心配されています。6 月に市内全小中学校で空中放射線量を測定し、国の目標値以下であることを確認しました。

その後、ホットスポットの存在が各地で明らかとなり、秋には、放射性物質が溜まりやすい箇所の測定を行い、線量が高かった校舎屋上の土砂を取り除きました。

今後は年 4 回、全小中学校で、放射性物質が溜まりやすい箇所などを継続的に測定します。



放射線量測定

《学校給食》

学校給食の材料は、産地、流通経路、生産者の行った検査結果などの情報を集め、安全なものを選んでいきます。

また、調理の際も、洗浄を以前よりていねいに行い、品物によっては茹でこぼしてから使っています。



平成24年度(H24.4.1~H25.3.31) 伊勢原市教育委員会の主な行事予定

4月～5月	・2012 子ども読書フェスタ (図書館)	10月～11月	・第48回伊勢原市民文化祭 (市民文化会館ほか)
5月	・子ども科学館フェスティバル (子ども科学館)	11月	・文化財保護強調週間事業 (日向・宝城坊ほか)
6月	・第17回いせはら市展 (中央公民館)	12月	・第14回いせはら CITY ウォーク (市内)
7月	・伊勢原市中学校演劇発表会 (市民文化会館小ホール)	12月	・第42回市民走れ走れ大会 (総合運動公園)
7月～8月	・公民館 夏休み期間各種事業 (全公民館)		・第24回市民音楽会 (市民文化会館大ホール)
	・夏休み 学校プール開放 (全小学校)		・図書館 年末各種イベント (図書館)
	・夏休みおはなし会、夏休み子ども映画フェスティバル (図書館)	1月	・第30回伊勢原駅伝競走大会 (総合運動公園スタート)
8月	・平成24年度 教育講演会 (市民文化会館大ホール)	2月	・公民館まつり (全公民館)
	・子ども科学館 自由研究相談室 (子ども科学館)	3月	・教育委員会表彰、スポーツ表彰 (市役所)
9月	・子ども科学館 自由研究展示会 (子ども科学館)		・第28回大山登山マラソン大会 (伊勢原駅前スタート)
	・伊勢原市中学校音楽会 (市民文化会館大ホール)		・第28回伊勢原美術協会展 (中央公民館)
9月～10月	・地区・学区住民体育祭 (各小中学校)		
	・市民のための図書館教養講座 (図書館)		

問い合わせ

◇ 電話：(市役所代表)0463-94-4711 担当の内線は以下のとおり
■教育総務課 5110 ■学校教育課 5120 ■指導室 5130 ■文化財課 5210 ■社会教育課 93-7500(直通)
■教育センター 95-2211(直通) ■スポーツ課 97-7266(直通) ■図書館 92-3500(直通)・子ども科学館 92-3600(直通)
◇ E-mail：k-soumu@isehara-city.jp

様々な場面で、市民の皆さんのご協力をいただいておりますので、ご紹介します。

地域の皆さんの支援と協力 《社会教育・文化財》

◆伊勢原3大ロードレース大会◆
 ～体力づくり振興会、地域の皆さん～
 [担当：スポーツ課]

12/11 (日) 「市民走れ走れ大会」
 1/15 (日) 「伊勢原駅伝競走大会」
 3/11 (日) 「大山登山マラソン大会」



毎年恒例となっているロードレース大会が開催され、みなさん大きな声援を受けながら元気いっぱい走りました。
 ※「伊勢原駅伝競走」は、今回コース変更され新しい大会として生まれ変わりました。

◆公民館まつり◆
 ～自治会、PTA、地域の皆さん～
 [担当：社会教育課]

市内の7公民館では、2月17日～26日の間で、「公民館まつり」を開催しました。
 作品の展示やサークルの発表、模擬店など、子どもから高齢者まで、多くの方々に参加していただきました。



南公民館まつり

◆図書館「おはなし会」◆
 ～「おはなしばる〜ん」「なないろらんぷ」の皆さん～
 [担当：図書館・子ども科学館]

図書館や幼稚園・小学校等で「おはなし会」を開催し、本の魅力や読書の楽しさを伝えていただいています。
 まだ字の読めない幼児を対象に、絵本や紙芝居の「読み聞かせ」、お話を暗記して語る「すばなし」が行われています。



「おはなしのへや」で紙芝居

◆子ども科学館「実験・工作教室」◆
 ～子ども科学館支援員の皆さん～
 [担当：図書館・子ども科学館]

子ども科学館が実施する実験・工作教室のお手伝いをしていただいています。
 支援会員自らが企画する「顕微鏡教室」や「天体観測」、「折り紙教室」なども開催されています。



折り紙教室

◆市民による歴史の伝導◆
 ～いせはら歴史解説アドバイザーの皆さん～
 [担当：文化財課]

3年間の養成講座を受講した「いせはら歴史解説アドバイザー」が活躍しています。
 歴史の伝道師として、文化財ウォーク、まが玉づくり、小学校での土器づくりなど、市内各地で活動していただいています。



まが玉づくり

地域の皆さんの支援と協力 《学校教育》

◆中学校の部活動指導◆
 ～中学校部活動指導協力者の皆さん～
 [担当：指導室]

中学校の運動部・文化部の活動に地域指導者の協力を得て、部活動の充実が図られています。
 《協力種目》
 野球、サッカー、バスケットボール、柔道、陸上競技、ソフトテニス、バレーボール、卓球、剣道、陸上競技、吹奏楽、コーラスなど



サッカー部の活動

◆通学路の安全点検と登下校の見守り◆
 ～PTA、自治会、老人会、婦人会、商店会などの皆さん～
 [担当：学校教育課]

全小中学校において、PTAや地域の方々のご協力のもと、通学路の安全点検を行い改善を進めています。
 また、児童生徒の登下校時の安全を、地域の方々に見守っていただいています。



通学路の安全点検

教育委員会の主な取組をご紹介します。

小中学校における取組

◆地域の文化財を活かした出前授業◆
 [担当：文化財課]

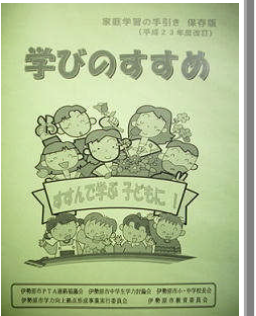
市内で出土した土器や石器、昔の道具類を学校へ持って行き、実際に見て、触って、確かめる出前授業を行っています。
 本物の実感に子どもたちの目が輝きます。



出前授業

◆家庭と学校が連携して子どもを伸ばす工夫◆
 [担当：指導室]

発達の段階に応じた生活習慣や学習内容などを載せた家庭学習の手引き「学びのすすめ」を、小中学校1年生の全家庭に配付しています。
 他の学年の家庭には、ダイジェスト版を配付しています。
 詳しい内容は、ホームページからご覧になれます。
<http://www.isehara.ed.jp/center/>



◆きめ細やかな学習指導◆
 [担当：指導室]

一人ひとりの子どもの個性を伸ばし、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」をはぐくむため、指導体制の充実を図っています。
 ○小学校1、2年生で35人学級の実施
 (平成23年度の国の基準では、1年生・35人学級、2年生・40人学級)
 ○少人数指導の実施(一部の教科でクラスを2つに分けて授業)
 ○指導補助員、介助員の配置(基礎・基本の定着や集団生活への適応の補助)



少人数指導

◆スクールランチを利用しやすく◆
 [担当：学校教育課]

平成18年度から、各中学校では、都合によりお弁当を持参できないときの昼食支援策として、スクールランチ(業者弁当の校内販売)を実施しています。
 これまで、注文の受付を授業開始前に行っていましたが、昨年6月からは、受付を1校時終了後の休憩時間まで延長しました。
 朝の部活動などで注文ができなかった生徒たちも利用できるようになりました。



ランチの受け渡し

平成24年度の新たな取組

◆通級指導教室「まなびの教室」開設◆
 [担当：教育センター]

一人ひとりのニーズに応じた教育を実現するため、週に1、2時間、通常の学級を離れて、本人の苦手なところを計画的に学習できる通級指導教室という制度があります。



これまでの「ことばの教室」に加えて、平成24年度から、コミュニケーション力や集団への適応力の向上をめざす「まなびの教室」を桜台小学校に開設します。小学生で入級をお考えの方は、まず、担任にご相談ください。

◆「ひまわり号」の更新◆
 [担当：教育センター]

県立伊勢原養護学校の小学部・中学部に在籍する市内の子どもたちが通学に利用している車両「ひまわり号」を更新します。
 車両の運行は、NPO法人にお願いし、利用の希望に関する手続きや保護者との連絡調整を教育センターが行っています。

これまでと同様に、介助員さんが子どもたちの乗車を支援し、この新しい車両で、より安全で快適な運行に努めます。

